

## 梵文阿弥陀経 和訳・英訳および語義

- 一 文単位で、サンスクリット語本文 ローマ字転写本文 和訳 英訳 語義 を並べています。
- 二 サンスクリット語本文は、山喜房佛書林『浄土宗全書 23 梵蔵和英合璧浄土三部経』よりの転載です。ただし、次の三に合わせて校正しており、またデーヴァナーガリーの字体はフォントの都合で一部底本と異なります。
- 三 ローマ字転写本文は、真宗大谷派宗務所出版部、藤田宏達著『阿弥陀経講究』からの転載です。梵本に緻密な校正が加えられており、校正箇所および内容は脚註(連声の訂正は\*のみ)で示しました。語義も、校正後の本文を前提にしています。
- 四 萩原雲来による 和訳および Max Müller による 英訳は、上述『浄土宗全書 23』よりの転載です。和訳の旧字体は新字体に変更しましたが、英訳のサンスクリット語表記は原文のままです。
- 五 語義は、主に鈴木学術財団刊『漢訳対照梵和大辞典』の「漢訳語」から抜粋しました。
- 六 語義の間に、句のまとまりが示してあります。ここでの和訳は上述『阿弥陀経講究』からの転載、漢訳は鳩摩羅什のもので、ただし、サンスクリット語本文と合わせるため、ともに出現順には入れ替わりがあり、和訳には多少補足を加えています。
- 七 品詞名は、*m.* 男性名詞 *f.* 女性名詞 *n.* 中性名詞 *pron.* 代名詞 *v.* 動詞 *a.* 形容詞 *ad.* 副詞 *prep.* 前置詞 *conj.* 接続詞 で略記しました。また、動詞の語根を √ で示しています。なお、格・活用形などの表記については、別紙文法資料を参照ください。
- 八 デーヴァナーガリーの表示には Arial Unicode MS、ローマ字転写には Sanskrit Century および Sanskrit Century Capital、漢訳本文には 真宗聖典楷書 の各フォントを使用しています。

### 標 題

सुखावतीव्यूहः<sup>1</sup>

Sukhāvativyūha<sup>2</sup>

樂有莊嚴<sup>1</sup>

DESCRIPTION OF SUKHĀVATĪ, THE LAND OF BLISS<sup>1</sup>

सुखावतीव्यूह Sukhāvativyūha *m.* [ 經典名 ] (大本と小本とあり、大本は『無量寿経』、小本は『阿弥陀経』)

सुखावती Sukhāvatī *f.* [ <sukhāvat *a.* 幸いある ] [ 阿弥陀仏の浄土の名 ] 極樂, 樂有, 安樂, 安養国

सुख sukha *n.* 安樂, 幸福, 歡喜

वत् -vat 接尾 ~を有する

व्यूह vyūha *m.* [ <√vyūh 建立する, みごとに配列する ] 莊嚴, 嚴飾, 綺飾, 嚴淨; 詳細な解説(まれ)

॥ नमः सर्वज्ञाय ॥

// namaḥ Sarvajñāya //

一切智者に帰命したてまつる。<sup>3</sup>

ADORATION TO THE OMNISCIENT!

नमस् namas *n.* (-as -aḥ 絶対語尾) 歸依, 歸命, 敬礼, 南無 *D.* を伴って、感嘆文を作る

सर्वज्ञ Sarvajña *m.* [-āya *D.* ~に] [ 人名 ] 一切知, 一切智

सर्व sarva *a.* 一切, 皆, 諸, 總, 全, 一切種, 衆

ज्ञ jña *a.* [ <√jñā 知る ] 了, 知, 智

<sup>1</sup> 底本の梵文阿弥陀経には標題はついておらず、英字で THE SMALLER SUKHĀVATĪ-VYŪHA と書かれている。(無量寿経、阿弥陀経ともに原題は Sukhāvativyūha で、Max Müller 以降 the larger ~, the smaller ~ 「(2つの内の)大きい/小さい方の~」と区別される。)梵文無量寿経からとって英字タイトルに置き換えた。和訳・英訳も梵文無量寿経より。

<sup>2</sup> ローマ字転写本文でも The Smaller Sukhāvativyūha と the smaller がついていますが、標題に合わせた。

<sup>3</sup> 和訳ではこの帰敬文を訳していない。(阿弥陀経の本文ではなく、写経者による加筆とみなしたためか。)